

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句
令和元年五月度 入選句（投稿総数二千二百六十七句・一般投句数六百十二句）

特選

春の雲長い梯子を掛けやうか

揖斐郡大野町 藤田 涼子

春の空にぼつかり浮かんだ白い雲雲にまつわるお話は のんちやん雲に乗る とか孫悟空など
たくさんあるが、殆んど冒険物語、雲に乗ればどんなに快適であろうかは、幼い子たちの夢
でもあるようです。

“あんな雲に乗れたらいいね”とお母さん、お父さんに長い梯子を掛けてもらおう と幼い子、
そだね、それがいいね、子たちの夢がどんどん大きくなつて行きます。

励ましは両手の握手 初桜

養老郡養老町 田中 紫香

春は別れの季節、そして出合いの季節、握手は心を伝える動作です。

別れにも、出会いにも握手は自然な行動ですが、両手での握手は心の籠った親愛の所作です。

励ましの両手の握手は、頑張れよのエールの握手だと思えます。お互い力強く握り返す姿にきら
きら輝やく初桜、凛々しい門出を祝うに相応しい季語の斡旋です。

待ちわびてやがて切なき桜かな

大垣市 立川 昌子

おもしろうてやがて悲しき鵜舟哉と、よしなきことに興じた後のあわれ、はかなさを詠った芭
蕉の句に通ずる思いがあります。

日本中が、いつ開くか、いつ咲くかの大騒ぎ、そして待ちに待って咲いた咲いたの大騒ぎ、その
割にはあつと言う間に過ぎ去つて行く桜の季節、誰にもある、空しさ切なさを詠い上げまし

秀逸

子供等に花疲れなどなかりけり

奈良県奈良市 やまとなでしこ

手をつなぎ歩く桜の道つづく

大垣市 棚瀬 民子

若草に座す望郷の念少し

東京都世田谷区 関戸 信治

クレヨンの赤使いきりチューリップ

大垣市 岡田 あや子

川風に背泳ぎもあり鯉のぼり

大垣市 本郷 陽子

年重ね小さく見ゆるランドセル

大垣市 吉村 守眞

できたてを食す仕合せ子どもの日

東京都北区 菱沼 多美子

燕とぶ当駅温泉入れます

大垣市 大杉 すみゑ

シヤンゼリゼ通りのカフェや夕薄暑

愛知県豊田市 城山 憲三

夕桜煙のごとき雨に散る

大垣市 村瀬 佐智子

入選

つちぐもり昼を灯して古本屋
おぼろ月昭和の歌を口ずさむ
走りゆく窓より眺む花吹雪
膝つきて蓬摘む背に風渡る
マネキンの四肢のすらりと更衣
春休ボールも声も高々と
武者人形飾る老舗の一等地
新調のリハビリシューズ緑さす
ティータイムジャスミンの白ゆれにけり
花は葉にゆらりゆらりと盪舟

大垣市	棚橋	みさを
大垣市	平野	きぬよ
大垣市	吉田	武夫
海津市	横井	美圭
大垣市	野村	多佳子
揖斐郡揖斐川町	栗野	みねお
福井県敦賀市	山田	美千代
愛知県名古屋市	舘野	茂子
大垣市	井沢	美志津
大垣市	久保田	悟義

入選

老木の捻じりねじれて藤の花
聖五月新幹線の腹の中
母の日の絵文字で屈く感謝状
触れてみる三角点や揚羽蝶
病む父の髭を剃りをり夕桜
花筏急流に乗り壊れけり
両の手で円を描きし合格子
八十八夜一煎の色淡きかな
春の風驢馬のパン屋がやって来る
ビル街を靴音高く新社員

大垣市	新町	恵子
茨城県神栖市	林	三枝子
大垣市	福田	木綿子
大垣市	大杉	すみゑ
栃木県那須塩原市	垣内	孝雄
兵庫県神戸市	岸下	庄二
大垣市	森	茂寿
大阪府東大阪市	森	佳月
三重県四日市市	藤田	勝民
神奈川県横浜市	龍野	ひろし

選者吟

雨は若葉若葉は雨をよろこびぬ

青志